

8月の日程 熱中症には十分ご注意を 生き生きと健康に働ける職場に



日本航空ユニオン宣伝ニュース
No 261(15-15)
2024年7月30日

Tel: 03-5756-8690 URL <http://www.jlu.co.jp> e-mail honbu@jlu.co.jp

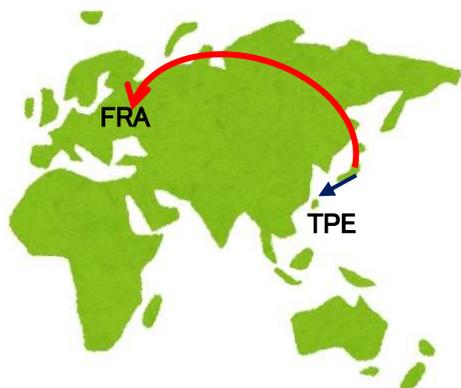
日付	8月の取り組み	日付	8月の取り組み
1	フェニックスビル7:30~8:30	16	
2		17	
3		18	
4		19	
5		20	PM 中央執行委員会
6	PM 中央執行委員会	21	
7		22	
8	航空連経営分析学習会 17:00~ (Zoom)	23	
9		24	
10		25	
11		26	
12		27	PM 中央執行委員会
13		28	
14	2024Q1 決算説明会	29	
15		30	
JLU 第 16 期定期大会は9月5日(木)フェニックスビルで開催		31	

AFRS 資格者の課題は継続

15 期も AFRS 資格者の抱える問題について、何度も会社と協議しました。「AFRS 資格手当は実施する会社毎に支給すること」の要求を掲げ、作業の負荷、資格取得及び維持の苦労などに対し、手当の改善を求めています。会社にも、カスタマー毎に仕様が違う、英語の問題、作業の煩雑さの声は届いており、その負担を下げることを優先していきたいと説明しています。

資格取得の出張訓練でも苦労

今年 7 月に A330neo の実機訓練と試験がドイツで行われました。時差ボケとエコミークラスでの長時間の移動で疲労もある中で、絶対に合格しないとイケない試験に訓練生の負担は相当大きなものでした。



こんな出張はイヤだ

- ・1 泊 3 日のスケジュール、現地での滞在は約 24 時間
- ・行きは 14 時間 50 分、帰りも 13 時間の長距離
- ・HMZ メンバーは ANA のエコミークラスを利用、NMZ メンバーは JAL 便を利用

組合は、JALEC(羽田)の安全衛生委員会に、「時差ボケのまま訓練を受けるのはどうなのか」ということを投げかけるとともに、整本労協でも実態を伝えました。会社は「まずは、最安、最適、あとはスケジュール全体を見ながら調整している」と説明し、「2 回目以降は考える」と言っていました。初回の訓練に参加した人たちの意見も踏まえ、8 月の訓練は台湾で実施することになりました。

春闘で NDI 資格者に対し手当が新設されました。会社の考え方は「資格を行使していく業務に着目して、資格取得のインセンティブやそういう業務の難易度、責任の重さ、資格取得の難易度という観点で設定している」というもの。この考えを元に今後も AFRS 手当の改善を求めています。

CSZ・NPZ 労協ダイジェスト

7 月に行われた CSZ と NPZ の労協から、やり取りの一部を紹介します。

部品サービスセンター (CSZ)

組合 A350 のシート部品が足りない。自社化はぜひ取り組んでほしいが、国内の協力会社に何か新たに発注しているもの、これから頼んで作ってもらうものはあるのか？

会社 W84 の MCU とか、リクライニングの部品とかを考えている。シートベルトとかシートカバーは対象になっていない。アームレストのカバーとかは技術と検討している。現時点で機能部品を先にやっている。シートブロックのリスクの高いものからやっていく考え。

組合 A350-1000 のキャリーオーバーが多い。そのほとんどが部品起因。MEL を適用して席を空けて飛ばしている。

会社 メーカーが準備したほうがいいと言っていたリストがあって、数千品目準備したうち 6 割くらいしか当たっていない。したがって、HMZ の人とかから、「この辺が弱いから壊れるかもしれない」ということを聞いて、感覚あたりを付けて事前に用意したい。7 月中に取りまとめて発注する。

エンジン整備センター (NPZ)

組合 大型試運転を建設し、GENx/Trent の受託作業をする事になっているが、大型試運転は何度もとん挫しているし、現実味がないような気がする。立ち足はだかる壁はどういったところか？

会社 それはやっぱりお金。数百億円という大規模な投資になる。ただ、GENx/Trent の自社化を検討するうえで経産省の産業構造審議会で検討しているエンジン MRO のことも合わせて考えている。ANA と JAL、IHI や MHI などの重工とも協力し、エンジンのサプライチェーンを回せないか議論しているところ。経産省、要は国からの補助金も含めて、大型試運転は必要という方向で話をしている。

組合 エンジンチェンジが多いうえに、トランスファーする部品が多い
会社 EEC 等は電装部品なので CSZ 品になるが、大きい構造部材はエンジン管轄。機材も増えているので、いろんな機会を捉えて CSZ とも話したい。